

令和5年度第2回石狩市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時 令和5年8月3日（木）15時00分～16時00分

場所 石狩市総合保健福祉センターりんくる2階 交流活動室

出席者 岸邦宏副会長、佐々木宏嘉委員、熊谷貞治委員、竹内努委員、菅田昇幸委員、山下光弘委員、桑山渉委員、河合保郎委員、高眞一委員、經亀真利委員、久保田貴浩委員、児玉成治委員、岩佐英世委員、柴田肇委員、小山玲子委員、渡邊恭子委員

事務局 企画課交通担当課長 上窪健一、企画課交通担当主査 江畠紀和
中央コンサルタンツ株式会社 堀主査

傍聴者 0名

次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) オンデマンド交通実証運行について
 - (2) 自家用有償旅客運送更新登録申請(案)について
3. その他
4. 閉会

=====審議内容の記録（審議経過、質疑、意見等）=====

※ 以下の質疑・意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

1. 開会

2. 議題

(1) オンデマンド交通実証運行について（※事務局より説明）

●令和5年度オンデマンド交通「いつも」の実証運行について<資料1>

【質疑・意見】

○今回の実証運行は2年目ですが、周知方法は今回工夫した点は何か。

●「広報いしかり」への掲載や、生振地区、緑苑台地区、花川地区での「地域住民説明会」、石狩湾新港地区における個別企業への説明を行うほか、石狩市公式LINEのプッシュ通知にて広く周知をしていく予定。

○収入と費用について、そのギャップは来年の本格運行に向けてどのように考えているか。

●運賃収入については資料に示している通り。通勤シャトルについては昨年度の利

令和5年度第2回石狩市地域公共交通活性化協議会（R5.8.3）

用実績を参考に考えており、現在も立地企業にアプローチをしているところ。
麻生便については9月～11月は1日25人、12月以降については1日35人を見込んでいる。手稲便については9月～11月は1日10人、12月以降は20人を見込んでいる。また、市内オンデマンドについて、去年は1日あたり5人弱の利用であったが、今回は土日の運行もあるため、1日当たり10人を見込んでいる。乗継便については9月～11月は1日あたり3人、12月以降は6人を見込んでいる。
まずは4台体制での利用動向を見定め、収支のギャップも含め今後も協議会にて議論させていただきたい。

○停留所にコンビニ、スーパー、公園等があるが、冬場の除雪などを含めた停留所の管理についてはどのように考えているか。

●今回の実証運行では、車両がコースタークラスとなっているため、前回実証運行よりも車両がコンパクトであり、これまで従業員の方々が乗降していた場所を利用できるものと考えている。また、中央バスの停留所については冬季期間の除雪がしっかりとなされているので非常に頼もしく思っている。

(2) 自家用有償旅客運送更新登録申請(案) (※事務局より説明)

●自家用有償旅客運送更新登録申請(案) <資料2>

【質疑・意見】

なし

3. その他

なし

4. 閉会

令和5年9月1日 議事録確定

石狩市地域公共交通活性化協議会

会長

